

障害者政策委員会

ニュースレター(No. 10) 2012.11.30

障害者政策委員会委員 全難聴副理事長 新谷友良

【第5小委員会3回目の開催】

11月26日、障害者政策委員会第5小委員会の3回目の会議が開かれました。今回のテーマは、「情報バリアフリー化の推進」で我々にとって非常に関心の深いテーマですが僅か2時間の議論で、省庁から施策の説明、それに対する質疑、その後議題テーマについて各委員が意見を述べる形で進行しました。政府からは金子政務官の出席がありました。写真を一枚添付します。



最初、省庁よりの説明がありました。文科省からは、教科書アクセシビリティに関する取組み、特別支援教育研究事業、学びのイノベーション、教材用特定図書の普及などの事業の報告がありました。勉強不足でしたが、今回初めて教科書バリアフリー法を知りました。平成20年に出来た法律で、「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の発行・普及の促進等を図る」ことを目的にしています。視覚障害や発達障害の子どもへの対応が中心のようですが、聞こえない子どもへのビデオ教材などの活用がどのようになっているのか、気になるところです。

その後、経済産業省から書籍等の電子化への取組みの説明がありました。書籍6万冊程度の電子化を緊急事業として進めており、東北地方に事業拠点のある業者へ発注を高め、復興後の東北の産業の一つに育て

たいとの説明でした。また、情報アクセシビリティに係るJIS規格X8341シリーズへの取組みの説明がありました。

最後は総務省で、視聴覚障害者向け番組の普及促進についての説明があり、BS放送字幕は2017年までに可能番組に100%付ける、「大規模災害等緊急放送」については「出来る限り全てに字幕付与」と「指針」に10月追加された、などの説明がありました。また、低料第3種郵便については、「事件後会計検査院の指摘もあり、制度の適正な利用に務めている。そのためか、利用は減っている。障害者団体を含めて4者協議を継続中。」との説明でした。

省庁説明の後、質疑・意見交換に入りました。新谷よりはJIS X8341シリーズの強制力に関連して「省庁の動画チャンネルでYouTube利用のものはこのガイドラインに沿っているのか」質問しましたが、「各省庁の判断に任せている。字幕に問題があることは担当部署に伝える。」(皆さんも是非省庁の動画チャンネルを見てください。問題点が分かると思います。)との回答でした。その他、邦画・DVDへの字幕付与の現状、音声自動認識ソフトへの開発資金の投入など意見を出しました。

障害者基本計画の策定のための小委員会の議論は今回で終わりです。この後、12月10日、17日の2回の障害者政策委員会で障害者基本計画への意見まとめに入ります。その後、政府で障害者計画がまとめられ、来年度から新しい計画がスタートしますが計画年度、数値目標など議論が煮詰まっていない点も多くあります。